

# 2025年2月期 第3四半期 決算補足資料

テクミラホールディングス株式会社

2025年1月14日



# I . 2025年2月期第3四半期 決算概要

---

- ◆ 全セグメントが増収となり、連結売上高は前年同期比+41%の大幅増  
これに伴い、EBITDA・営業利益・経常利益も前年同期比で大幅増
- ◆ 資本業務提携により保有した上場株式の価格下落に伴う評価損等により  
101百万円の特別損失が発生、この結果、純利益は▲10百万円を計上

単位：百万円	2023FY 3Q累計	2024FY 3Q累計	前年同期比	
			百万円	%
売上高	6,163	8,700	+2,537	+41%
調整後EBITDA※1	52	799	+747	約15.4倍
営業利益	▲171	151	+322	—
(為替差益)	(89)	(53)	▲36	▲41%
経常利益 (%)	▲4 (—)	201 (2%)	+205 (—)	—
(特別損失)	(▲7)	(▲101)	▲94	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (%)	▲20 (—)	▲10 (—)	+10 (—)	—
ROE※2	▲0.4%	▲0.2%	+0.2p	

※1 営業利益と減価償却費（のれんに係る償却費を含む）及び為替差損益の合計額

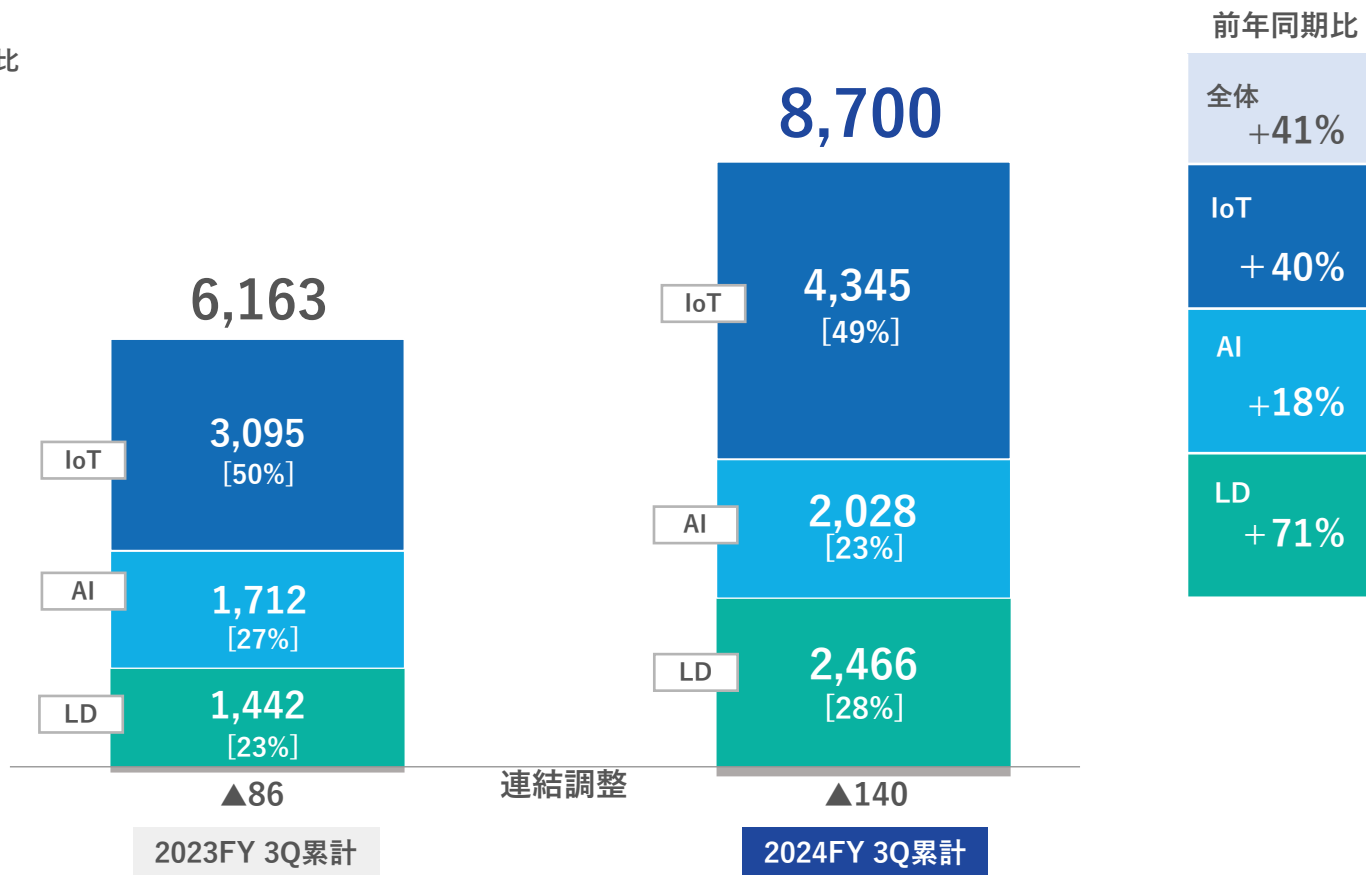
※2 ROEは、該当する会計期間の親会社に帰属する当期純利益の額を、当該会計期間の期首および期末の株主資本平均残高で除して計算

## 前年同期比で各事業とも二桁増により全体で41%の増収

- IoT** ODM事業、aiwa事業ともに順調に推移し、セグメント全体で40%超の増収
- AI** AIチャットボットなどのSaaS事業拡大、ソリューションも堅調で二桁増収
- LD** ゲームソフトの海外販売好調に加え、ウェルネス事業拡張も寄与し大幅増収

単位：百万円 [ ]内は構成比

- IoT&デバイス事業(IoT)
- AI&クラウド事業(AI)
- ライフデザイン事業(LD)



※セグメント区分の一部変更に伴い、本資料における2023年度のセグメント売上高・利益については新区分の数値に換算し算出しております

## 各事業とも増収効果により大幅増益、全体で前年同期比15倍超へ

**IoT** 増収効果と生産効率改善により、前年同期比で3.5倍に増加

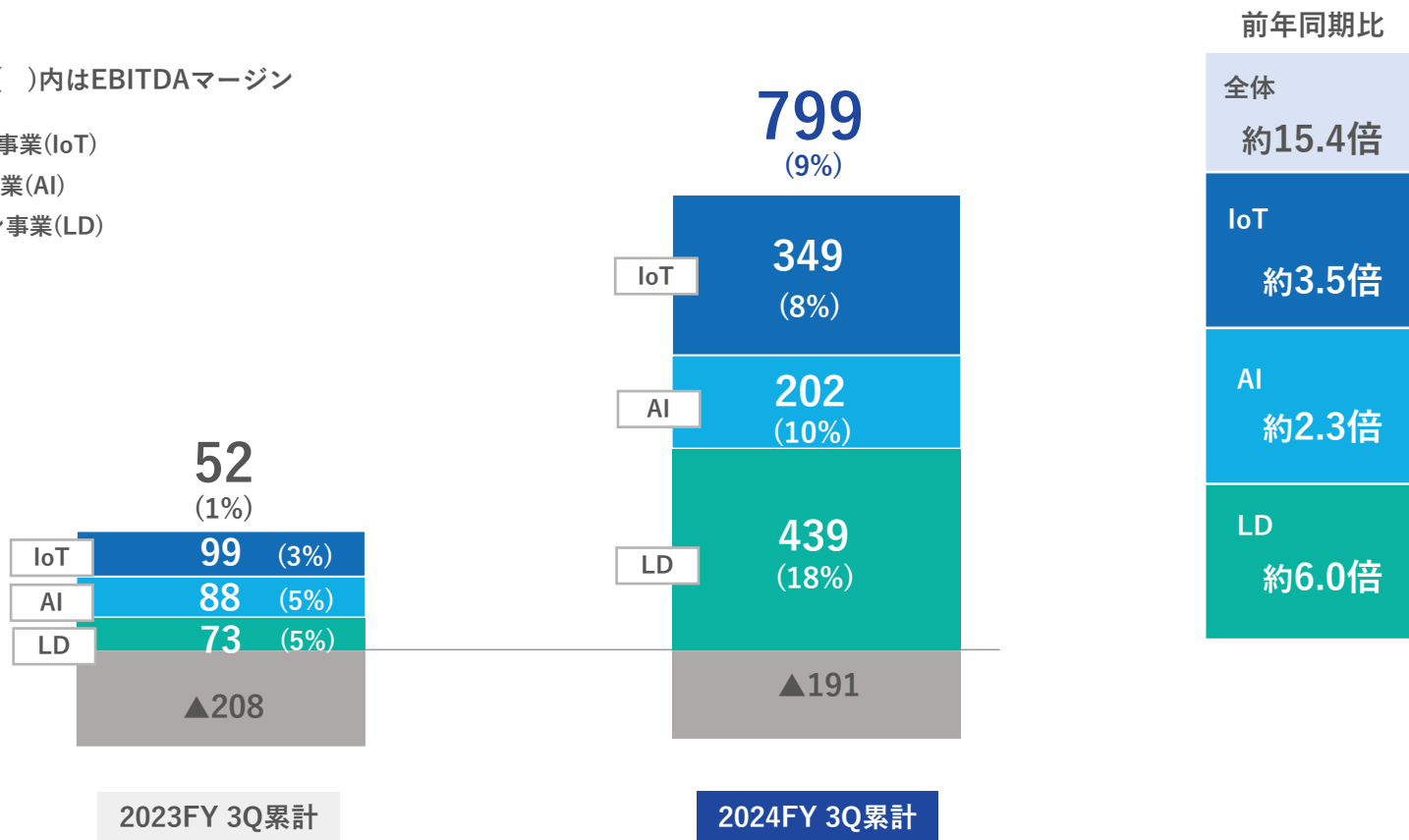
**AI** セグメント利益の増加により、前年同期比で2.3倍に増加

**LD** ゲーム事業の好調等により、前年同期比6.0倍の大幅増

※調整後EBITDA = 営業利益と減価償却費（のれんに係る償却費を含む）及び為替差損益の合計額

単位：百万円 （ ）内はEBITDAマージン

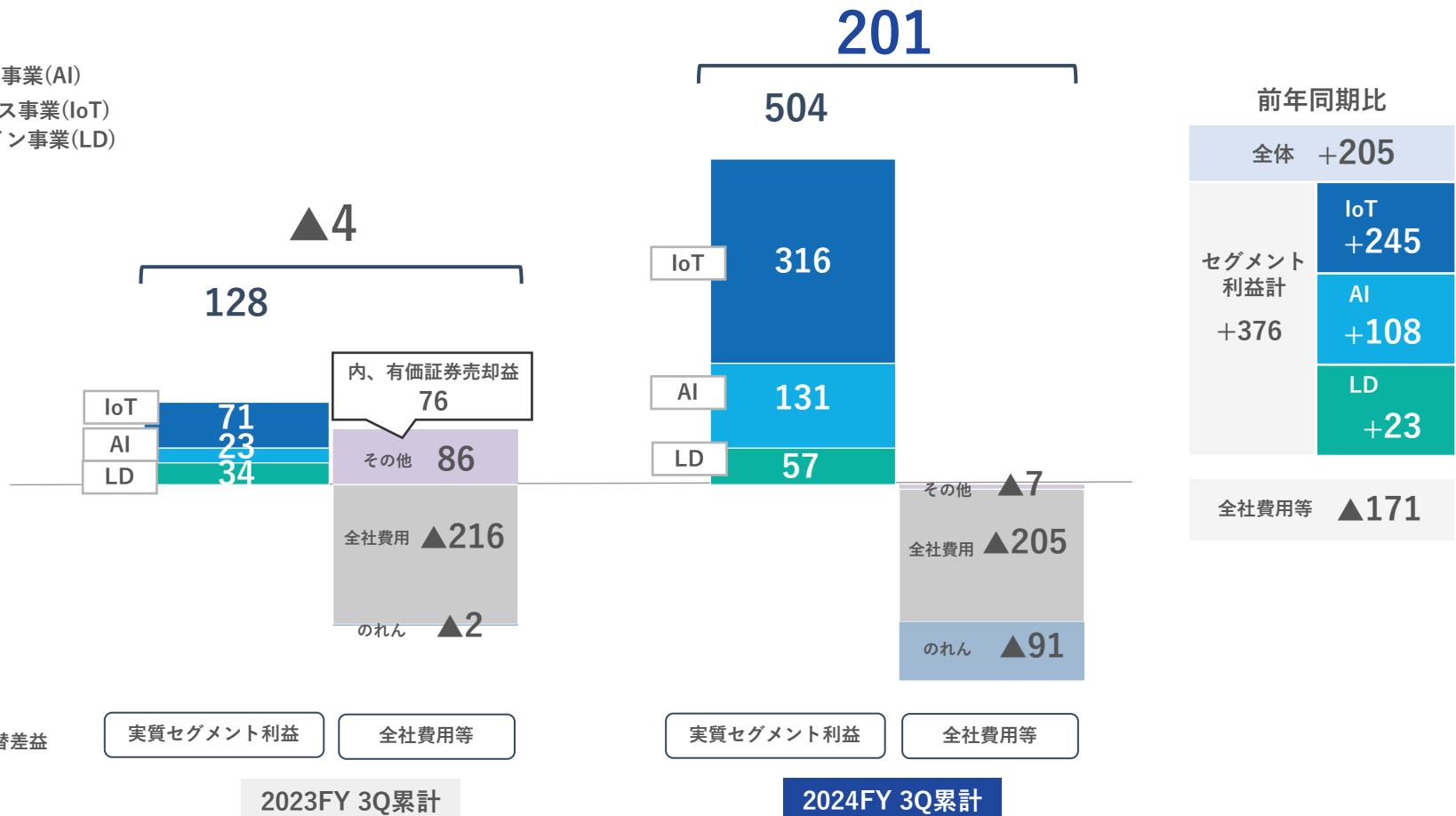
- IoT&デバイス事業(IoT)
- AI&クラウド事業(AI)
- ライフデザイン事業(LD)
- 全社費用等



- ◆ 各セグメントとも大幅増益となり、実質セグメント利益は大幅に拡大
- ◆ 当期は有価証券売却益がなく、のれん償却が追加発生  
この結果、全社費用等は増加

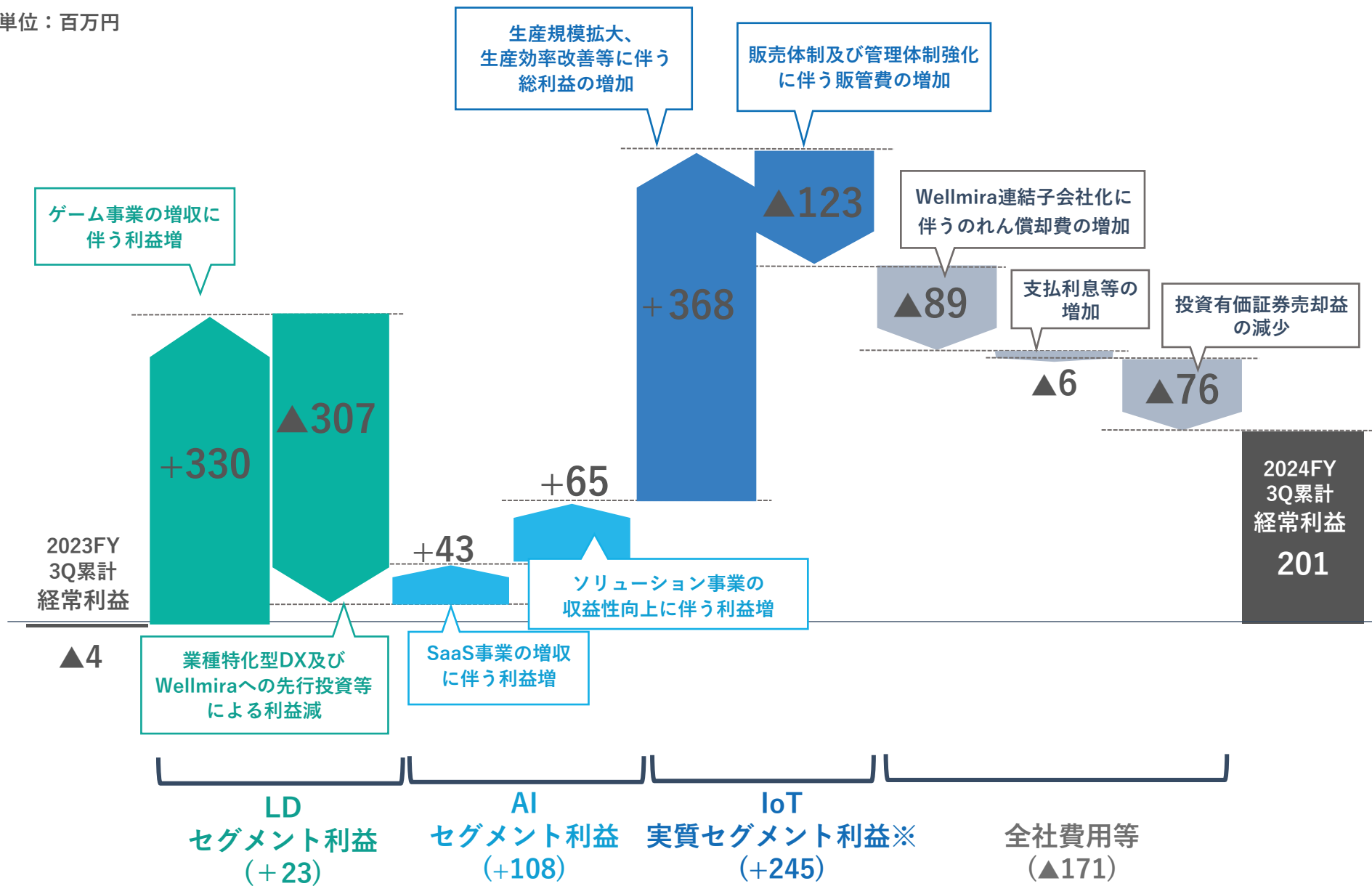
単位：百万円

- AI&クラウド事業(AI)
- IoT&デバイス事業(IoT)
- ライフデザイン事業(LD)
- 全社費用等



# 経常利益増減要因 (対前年同期比)

単位：百万円

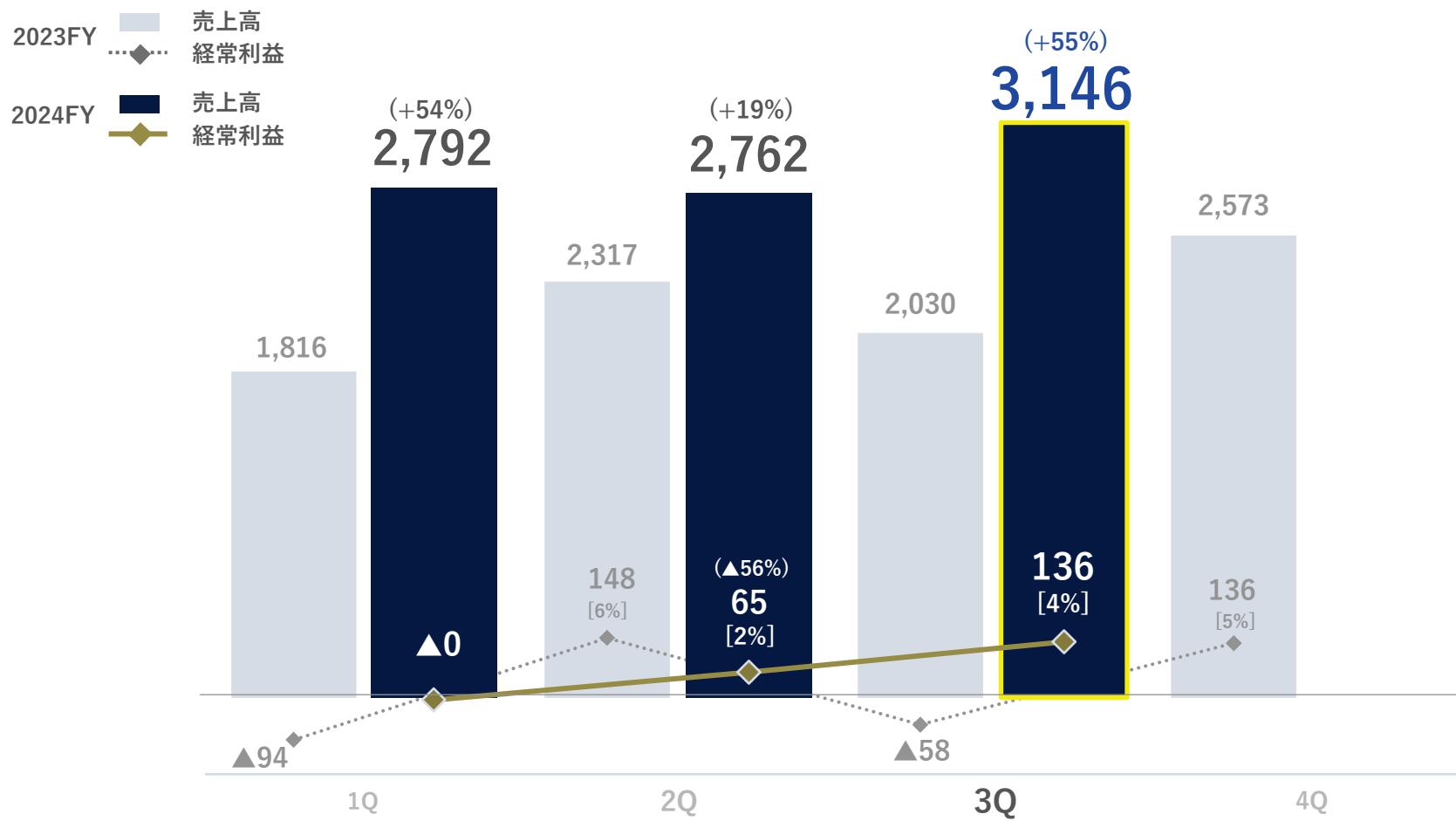


※ セグメント利益+為替差益

## 2024年度 3Q期間業績サマリー

- ◆ IoT事業の牽引により2Q比で大きく増収増益
- ◆ 前年同期比についても大幅な増収増益を達成

単位：百万円 ( ) 前年同期比 [ ] 利益率 ※マイナスの場合は省略

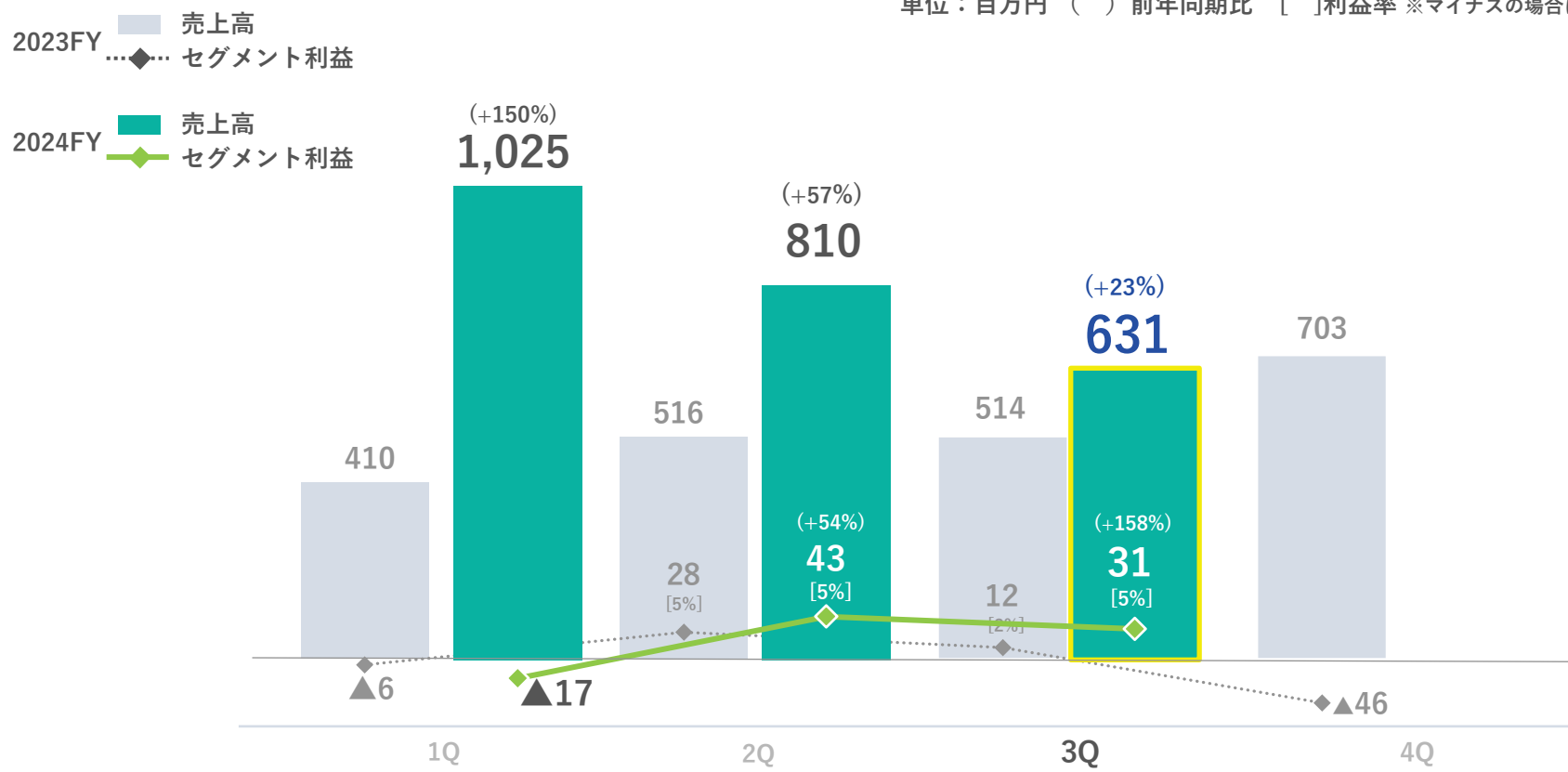




## 2024年度 3Q期間業績サマリー

- ◆ 新作ゲームが発売時期からリピート時期に移行し2Q比で減収
- ◆ 利益面ではウェルネス事業の黒字化によりセグメント黒字を維持
- ◆ 前年同期比では前期に続き増収増益を継続

単位：百万円 ( ) 前年同期比 [ ] 利益率 ※マイナスの場合は省略



※2023FY4Q (1~2月) は、M&Aにより吸収した新会社にヘルスケア事業は移動したため連結業績から除外

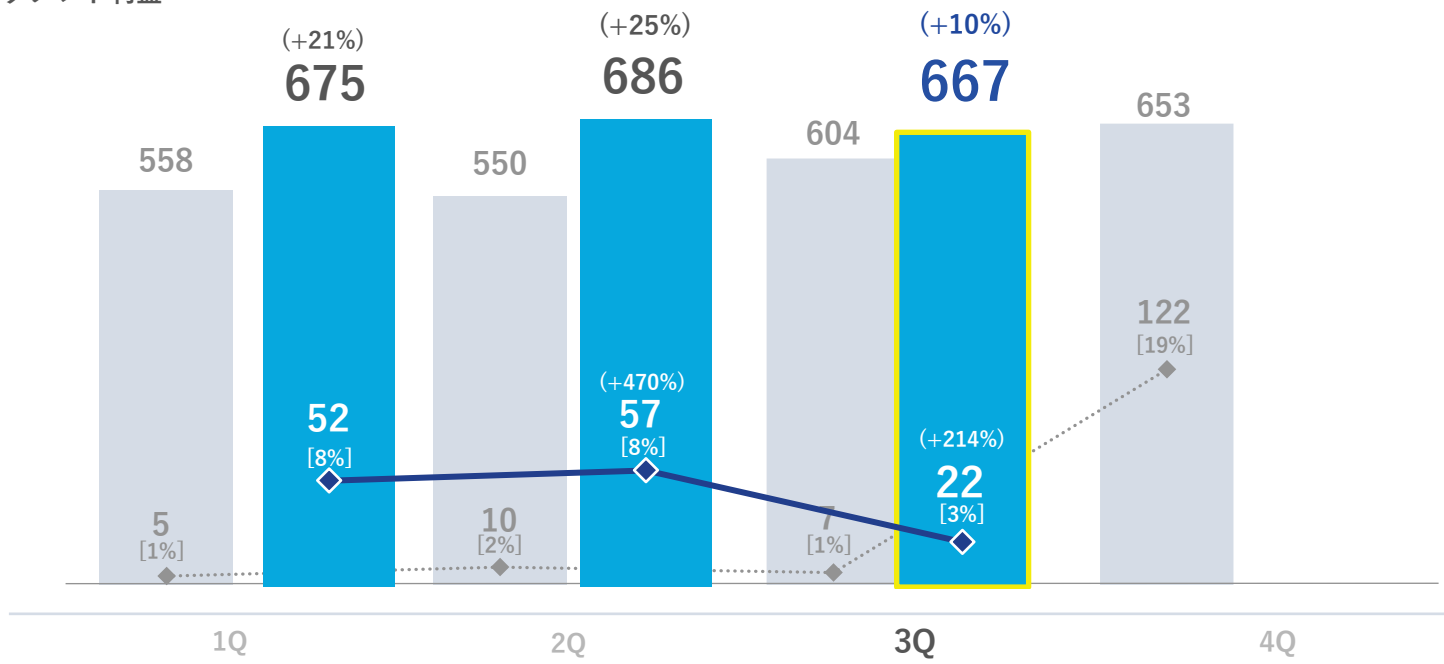
## 2024年度 3Q期間業績サマリー

- ◆ SaaS事業は前年同期比、前期比ともに増収を継続
- ◆ セグメント利益は、展示会出展等の販促費投下の季節要因、ソリューション事業のプロジェクト要因等により2Q比で減益

単位：百万円 ( ) 前年同期比 [ ] 利益率 ※マイナスの場合は省略

2023FY  
 ■ 売上高  
 ◆ セグメント利益

2024FY  
 ■ 売上高  
 ◆ セグメント利益



## 2024年度 3Q期間業績サマリー

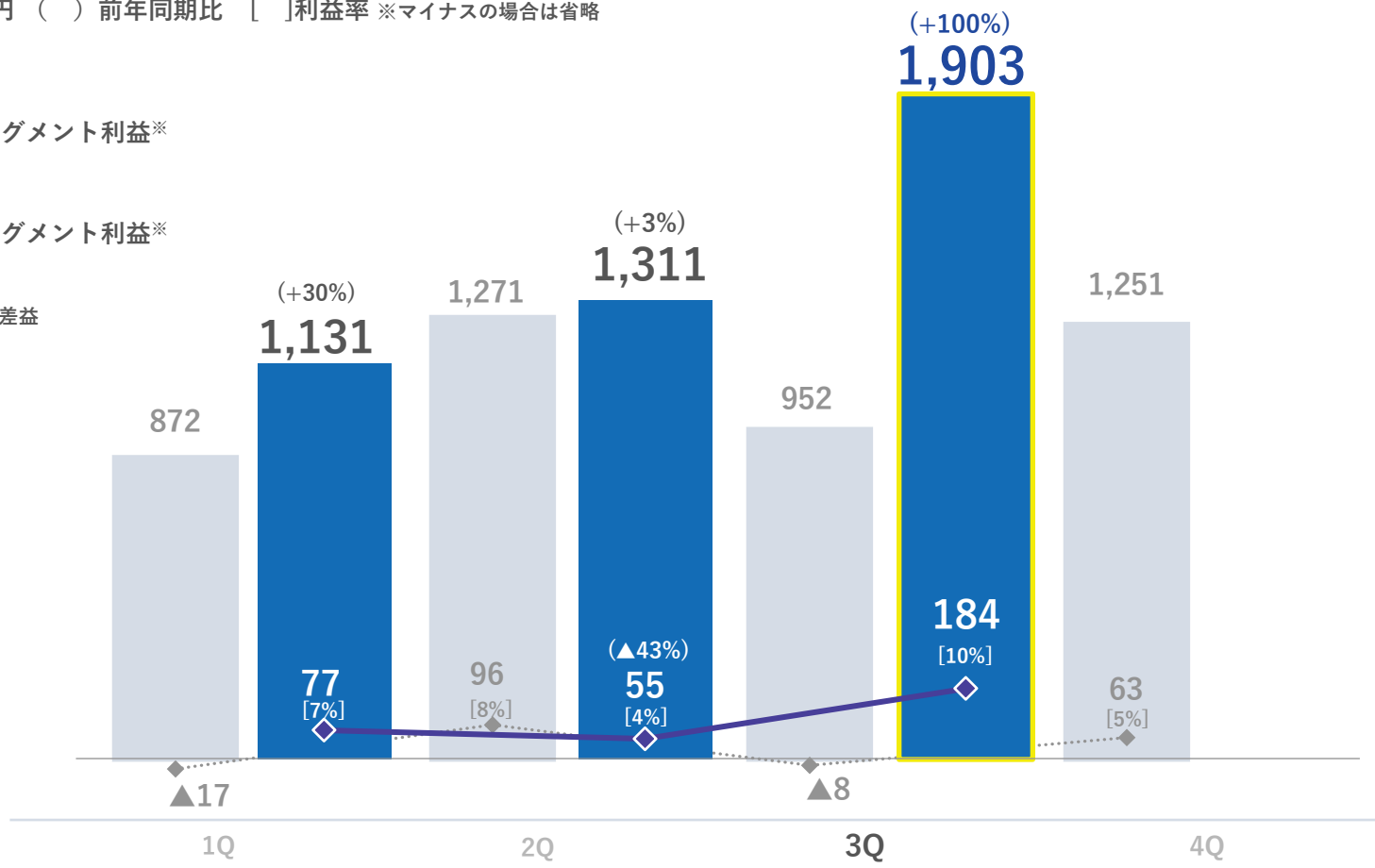
- ◆ 好調なODM事業の牽引により前年同期比、前期比で大幅な増収増益
- ◆ aiwa事業も引き続き売上拡大を継続
- ◆ 増収に伴って生産効率も大きく向上し、利益率が改善

単位：百万円 ( ) 前年同期比 [ ] 利益率 ※マイナスの場合は省略

2023FY 売上高  
実質セグメント利益※

2024FY 売上高  
実質セグメント利益※

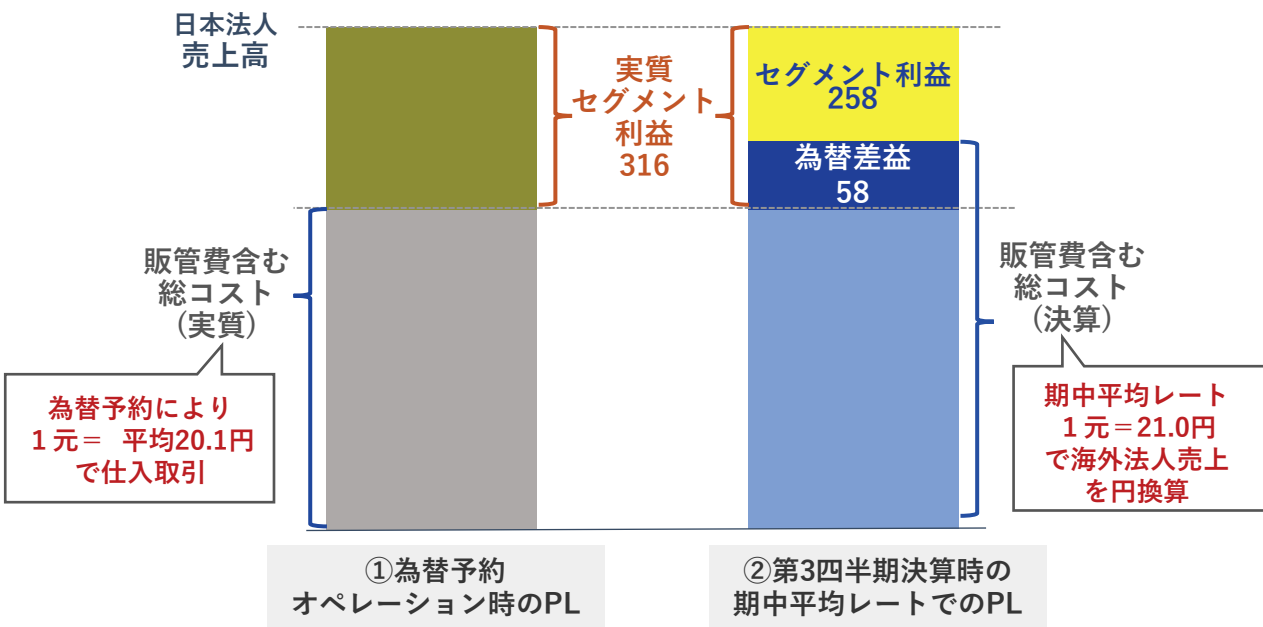
※実質セグメント利益  
= セグメント利益 + 為替差益



- ◆ 日常オペレーションにおいて、日本法人が海外子会社からデバイスを仕入れる際に為替予約(1元=20.1円)によって仕入額を確定した上で実現した利益を「実質セグメント利益」として算出
- ◆ 海外子会社を連結する際の同社の出荷高を期中平均レート(1元=21.0円)で算出、日本法人が仕入れた際の予約レート(1元=20.1円)との差分を、為替差益として計上

2024FY 3Q

為替予約レートより円安元高となり為替差益が発生



①日本/深圳の実際の取引は、案件毎に為替予約を行い、円建て仕入額を確定  
<2024FY 1~3Q: 1元=20.1円で予約取引>

②連結決算時に期中平均レートで海外法人売上高を円換算  
<2024FY 1~3Q: 1元=21.0円で換算>

上記①②の元レートの差0.9円がIoT&デバイス事業に関わる為替差益として2024FY 1~3Qでは**58百万円**発生

## 資産の部

- ・ 現預金の大幅増加
- ・ 売上債権の回収による売掛金の減少
- ・ 減価償却、のれん償却による無形固定資産の減少
- ・ CVC出資金増による投資その他資産の増加

## 負債の部

- ・ 前受金増加による契約負債の増加
- ・ 事業規模拡大に伴う短期借入金の増加

## 純資産の部

- ・ 子会社株式追加取得、配当金支払いによる純資産の減少

単位：百万円	前年度末(24/2)	当期末(25/11)	増減		前年度末(24/2)	当期末(25/11)	増減
流動資産	6,099	6,290	+191	流動負債	1,939	2,763	+824
現金及び預金	2,662	3,742	+1,080	契約負債	147	395	+248
受取手形、売掛金及び 契約資産	1,790	1,157	▲632	短期借入金・1年内 返済予定の長期借入金	612	1,280	+668
前渡金	348	314	▲33	その他	1,179	1,086	▲92
棚卸資産	720	772	+52	固定負債	1,827	1,454	▲373
その他	578	302	▲276	負債合計	3,767	4,217	+450
固定資産	4,010	4,152	+141	株主資本(自己株式除く)	6,086	5,934	▲151
有形固定資産	242	280	+37	その他の包括利益累計額	186	215	+29
無形固定資産	2,196	1,964	▲232	新株予約権・非支配株主持分	70	75	+4
(内、のれん)	(1,213)	(1,122)	▲91	純資産合計	6,343	6,225	▲117
投資その他の資産	1,571	1,908	+336	負債・純資産合計	10,110	10,442	+332
資産合計	10,110	10,442	+332	自己資本比率	62.0%	58.9%	▲3.1p



## II .2025年2月期 業績見通し

---

中計方針

新たな事業構造へのシフト



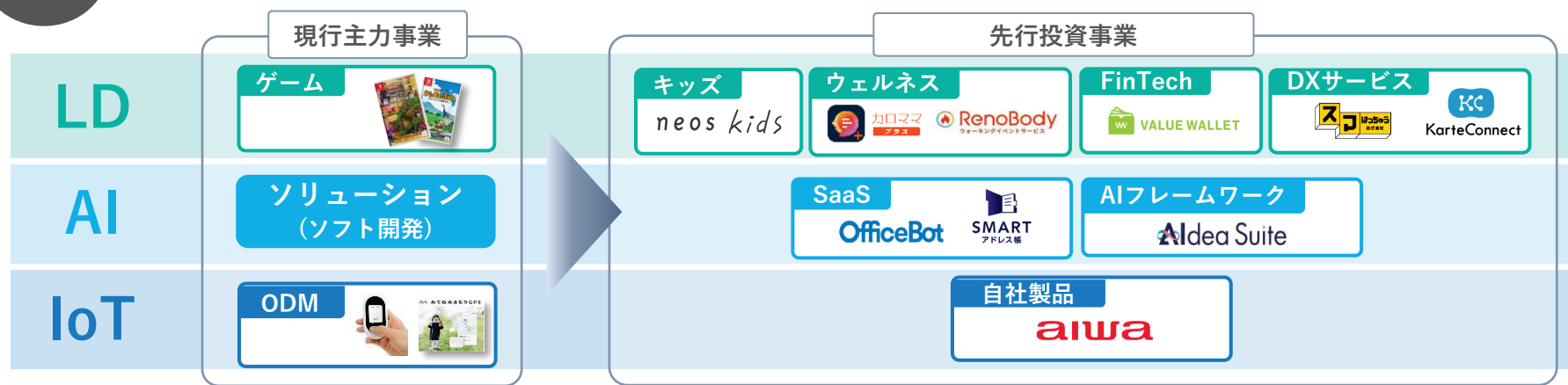
増収増益の実現

今期目標

新たな事業構造 = 自社事業拡大による中期的な収益性の向上

事業  
戦略

現行主力事業で稼いだ資金を先行投資事業に投資、ストック型収益事業に育成する



今期目標に対する総括

◆ 売上目標及び増収増益は実現、現行主力事業/先行投資事業ともに大幅増収

◆ 但し、先行投資事業の利益予算が未達

現行主力事業の好調でカバー出来ず、EBITDA/経常利益を下方修正

先行投資事業セグメント利益

予算: 年間黒字化 ⇒ 見込み: 年間では赤字、但し下期は黒字化

◆ 純利益については、株式評価損、法人税増が更なるインパクトとなり損失計上

単位：百万円	前回発表予想 (2024.4)	今回修正予想	増減
売上高	10,000	11,000	+10%
調整後EBITDA※ (EBITDAマージン：%)	1,000 (10%)	920 (8%)	▲80
経常利益 (利益率：%)	300 (3%)	200 (2%)	▲100

※ 営業利益と減価償却費（のれんに係る償却費を含む）及び為替差損益の合計額

### ◆ 売上高は前回予想比で10%増の上方修正

各セグメントとも現行主力事業（ゲームソフト、ODM、ソフト開発）は好調  
 先行投資事業（AIチャットボット、aiwa、ウェルネス、Fintech、DXサービス）  
 についても売上高は拡大基調

### ◆ 調整後EBITDA及び経常利益については下方修正

先行投資事業は今下期に黒字化見込みだが、現行主力事業の好調でカバーできず  
 EBITDA、経常利益ともに下方修正



# 2025年2月期 連結業績予想の修正 (セグメント別)

単位：百万円		前回発表予想(2024.10)	今回修正予想	増減
LD	売上高	3,200	3,060	▲4%
	セグメント利益	206	128	▲78
AI	売上高	2,300	2,670	+16%
	セグメント利益	254	220	▲34
IoT	売上高	4,800	5,500	+15%
	実質セグメント利益※1	232	243	+11
セグメント計	売上高※2	10,000	11,000	+9%
	実質セグメント利益	692	591	▲101
全社費用等		▲392	▲391	+1
経常利益		300	200	▲100

※1 実質セグメント利益 = セグメント利益 + 為替差益    ※2 連結調整後

## 売上高

- ・ AI、IoTは前回見込みより上方修正
- ・ LDは若干の下方修正

## セグメント利益

- ・ IoTは売上増に伴い前回見込みより利益増
- ・ AIは開発・販売投資の増加により利益減
- ・ LDはDXサービス等の先行投資事業が大幅未達により利益減

単位：百万円	前回発表予想(2024.4)	今回修正予想	増減
経常利益 (利益率：%)	300 (3%)	200 (2%)	▲100
特別損失	—	▲150	▲150
税金等	100	120	+20
親会社株主に帰属する純利益 (利益率：%)	200 (2%)	▲70 (—)	▲270
ROE※	3.1%	▲1.1%	▲4.2p
一株あたり配当金	5円	5円	—

※ ROEは、該当する会計期間の親会社に帰属する当期純利益の額を、当該会計期間の期首および期末の株主資本平均残高で除して計算

### ◆ 純利益は下方修正

経常利益の下方修正に加え、有価証券評価損など特別損失の発生、税金等の見込み増により純利益を△70百万円に修正

### ◆ 配当予想については変更なし

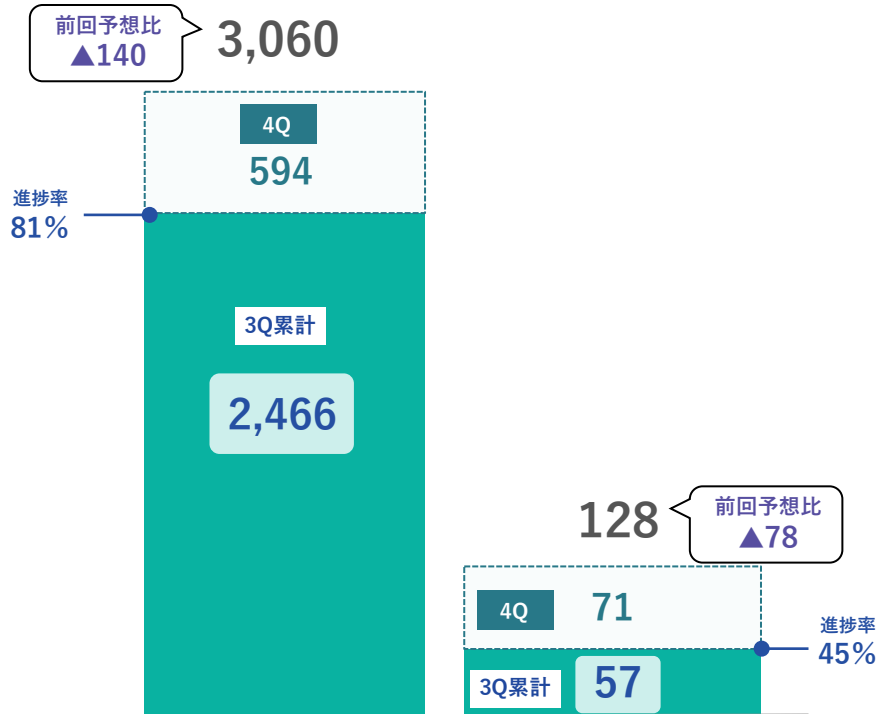
純損失の主要因は本業ではなく評価損に伴う特別損失によるものであり、調整後EBITDA、キャッシュフローともに大幅プラスの見込みであることから期首計画通りの一株5円配当を実施

## ライフデザイン事業

単位：百万円

売上高

セグメント利益



2024FY 計画

### 4Q方針

#### 先行投資事業の採算化に向けた取り組み

- ・ ウェルネス事業及びFintech事業の下期黒字化と来期に向けた事業拡大の準備
- ・ 医療・介護、酒販など業種別DXサービスの来期採算化に向けた各種施策の推進

#### 新作ゲームの海外リピート販売強化

- ・ 「クレヨンしんちゃん『炭の町のシロ』」海外展開における年末年始および春節向けの販売拡大施策の実施

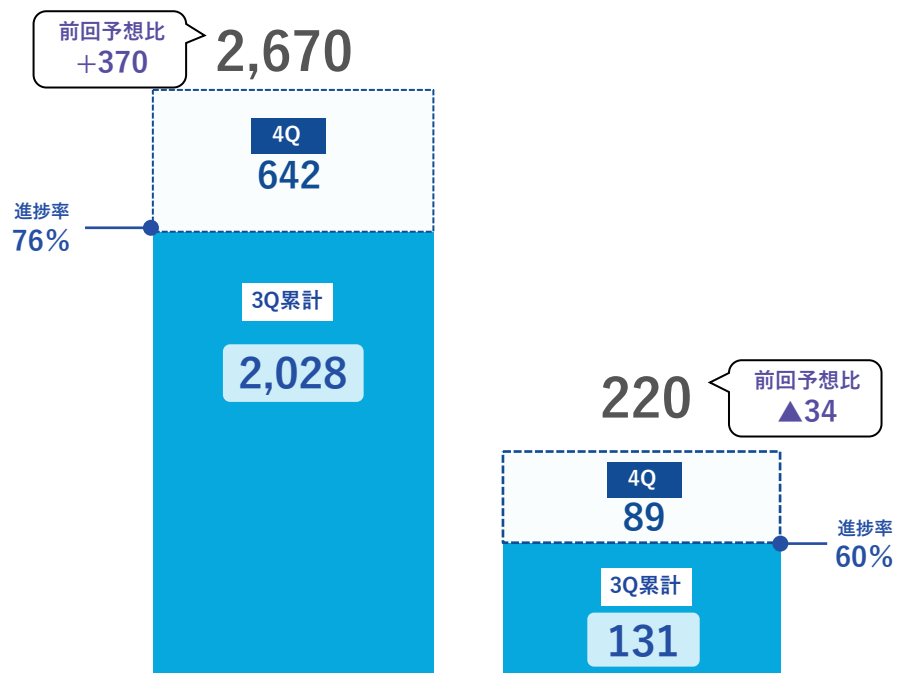
## AI&クラウド事業

### 4Q方針

単位：百万円

売上高

セグメント利益



2024FY 計画

### SaaS事業の収益化

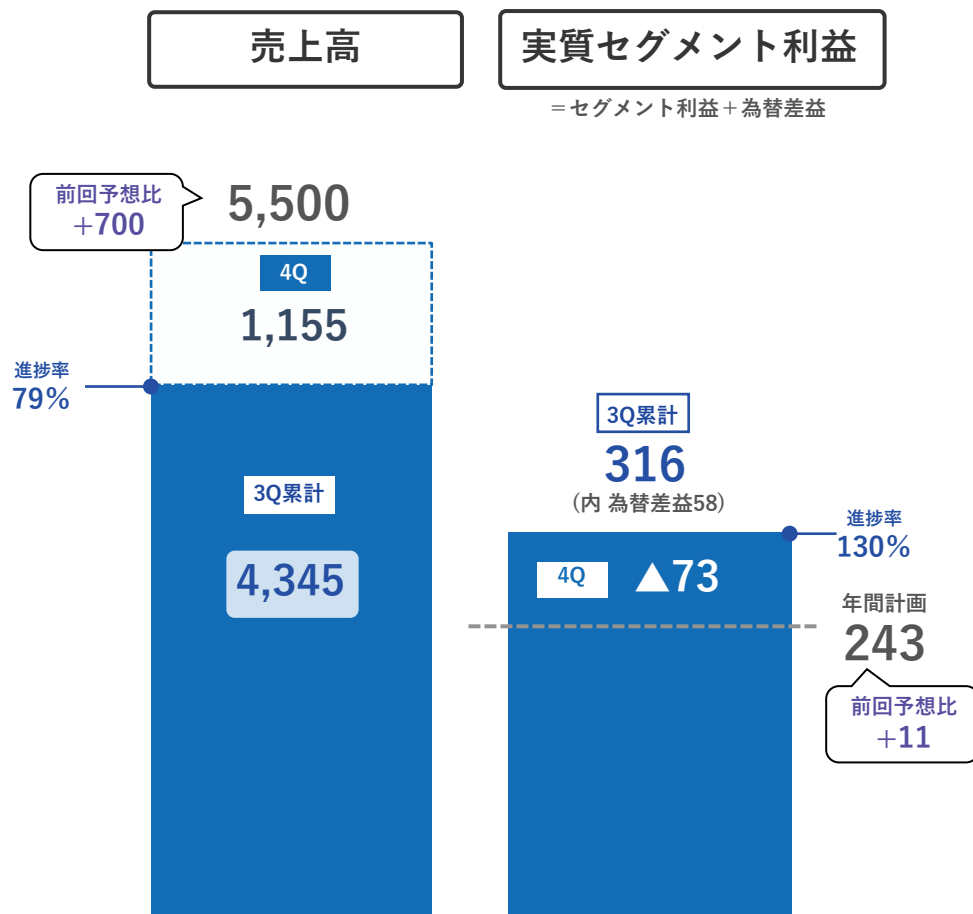
- ・ AIチャットボット「OfficeBot」の更なる販売拡大に伴う収益化

### AI等の付加価値型ソリューションの拡大

- ・ 「OfficeBot」とのクロスセルによる「Aldea Suite」等のAIソリューションの拡大
- ・ 自社プロダクトと連携した分野やDX、IoTなどの付加価値の高い分野でのソリューション強化への注力

## IoT & デバイス事業

単位：百万円



2024FY 計画

### 4Q方針

#### 来期に向けた受注活動への注力

- ・春節により中国工場の稼働は実質2か月間となり、生産/出荷高減少などの影響で4Qは赤字の見込み
- ・来期に向けた積極的な受注活動と出荷準備に注力

#### 自社製品aiwaの春商戦に向けた対応

- ・主力のタブレット製品を中心に春商戦向けの拡売実施



## III. Appendix

---

<b>所在地</b>	東京都千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館10F
<b>連結従業員数</b> (2024年8月末現在)	562名 (国内273名・海外241名)
<b>設立</b>	2004年4月
<b>上場</b> (証券コード：3627)	2008年5月 東証マザーズ上場 2012年1月 東証第一部へ市場変更 2023年10月 東証再編に伴いスタンダード市場へ移行
<b>資本金</b> (2024年11月末現在)	2,419,399千円 発行済株式数 12,590,300株
<b>連結子会社</b>	ネオス株式会社 JENESIS株式会社 スタジオプラスコ株式会社 Neos Vietnam International Co., Ltd (ベトナム) 創世訊聯科技(深圳)有限公司 (中国) スマはっちゅう株式会社 アイワマーケティングジャパン株式会社 株式会社Wellmira
<b>決算期</b>	2月

# TechnologyとCreativeで未来を創る

コンテンツ・ソフトウェア・ハードウェアの多分野に亘る技術と知見、それらを支える人材を強みに

Service領域とTech領域の二軸でDXを深耕

## Service領域

## Tech領域

**CharaTech**



キャラクターコンテンツ キッズアプリ

AIチャットボット  
**OfficeBot**

AI・クラウド  
ソリューション  
**Aldea Suite**  
aws partner network

**aiwa**



**HealthTech**

- 歩数計アプリ  
**RenoBody**
- 医療介護DX  
**KC**  
KarteConnect
- AI健康アドバイス  
アプリ  
**カロスマ**  
プラス



### ライフデザイン

デジタルテクノロジーにより  
生活を便利で豊かにする  
サービスやソリューションを提供

**FinTech**

- プリペイド決済  
**VALUE**  
WALLET
- 酒販卸向けDX  
**スコップ**

**EdTech**



教育コンテンツ



### AI&クラウド

先進技術を駆使したSaaSや  
Techソリューションで  
企業のDXやビジネスを支援

クラウドアドレス帳  
**SMART**アドレス帳

**POCKETALK**  
シリーズ



### IoT&デバイス

コネクテッドデバイスなど  
モノとインターネットの融合による  
新たな価値を創造

**各種IoTデバイス**

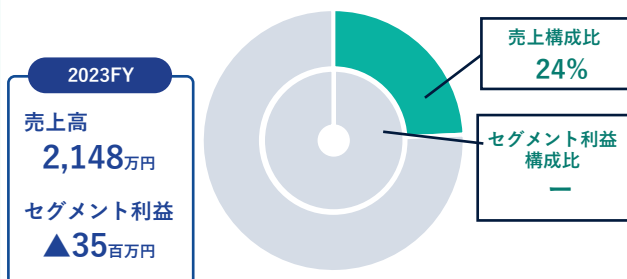
- 見守りGPS
- スマートロック



デジタルコンテンツからAI/IoTまで デジタル化による付加価値創出を追求



## ライフデザイン事業



Business Domain

### コンシューマ&コンテンツ

- Nintendo Switch等のゲームやキャラクターコンテンツ
- 知育・教育等のキッズアプリ
- 教育系コンテンツ等

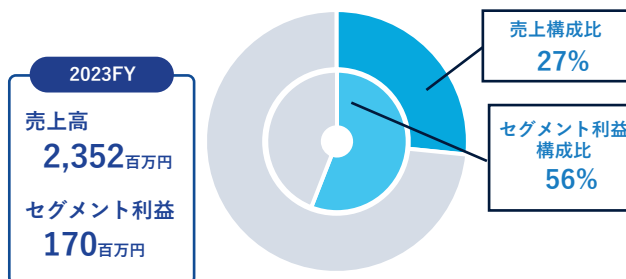
### ウェルネス (株式会社Wellmira)

- 健康経営支援サービス「RenoBody」
- AI健康アドバイスアプリ「カロママプラス」
- ヘルスケアサービス等

### 特定業種向けDXサービス

- プリペイド決済サービス「ValueWallet」
- 酒販業界向けDX「スマはっちゅう」
- 医療介護向けDX「KarteConnect」
- 電子出版向けASP

## AI&クラウド事業



Business Domain

### SaaS

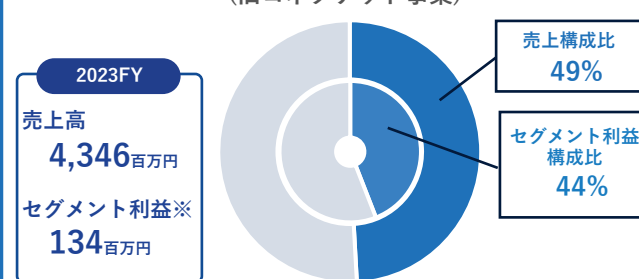
- AIチャットボットサービス「OfficeBot」
- クラウドアドレス帳サービス「SMARTアドレス帳」

### ソリューション

- AIソリューション[Aldea Suite]
- Azure、AWS、Salesforce、Kintone等のクラウド導入、運用支援スクラッチ開発
- その他スクラッチ開発等

## IoT & デバイス事業

(旧コネクテッド事業)



Business Domain

### ODM

- 通信デバイスの開発・製造・保守・カスタマーサポート
- デバイスに対応したアプリやプラットフォームの開発

### 自社プロダクト

- 自社ブランド「aiwa」製品シリーズ

※実質セグメント利益 (セグメント利益+為替差益)

## 知育・教育／健康／FinTech／キャラクター利用等の分野において デジタルテクノロジーを活用したライフデザインサービスとソリューションを提供

### 事業の歩み

- ガラケー時代の創業当初、通信キャリアや端末メーカー向けにコンテンツ制作、サービス開発から組み込みソフトまで幅広く対応
- スマホ転換期、通信キャリアのビジネスモデル変容により、コンテンツ力やサービス力を活かした自社ビジネスへのシフトとそのノウハウを基にしたソリューションに転換



キャラクター版権元との強固な  
パートナーシップや知育・教育DXの  
知見を活かしたコンテンツを提供



ヘルスケアやメディカル領域における  
サービスノウハウを活かした  
法人向けサービスを展開



ソリューション事業で培った  
業界知識を活かした  
特定業種向けのDXサービスを展開



#### コンシューマ&コンテンツ

クリエイティブ力やキャラクターIPを活かした  
多彩なコンテンツを世界中に展開



キャラクターコンテンツ



キッズアプリ



教育コンテンツ開発

#### ウェルネス(株式会社Wellmira)

健康経営や健康事業を支援する  
BtoBサービスを展開



健康経営支援サービス



AI健康アドバイスアプリ



ヘルスケアサービス開発

#### 特定業種向けDXサービス

特定の業種に特化した  
BtoBサービスおよびソリューションを展開



プリペイド決済



酒販向けDX



医療・介護向けDX



電子出版向けASP

## AIチャットボット及びクラウドアドレス帳サービスなどのSaaSやAWS等を活用したTechソリューションを提供

### 事業の歩み

- 通信キャリア向けのサービスやシステム開発に始まり、ITの進展とともに一般法人においてもクラウドなどの技術を活用した業務システムやサービス開発を支援
- AIやクラウドなど先進技術における研究開発を積極的に推進  
これを応用したチャットボットや法人向けアドレス帳などの自社サービスをいち早く提供開始

アプリ、クラウドやAI等の自社開発技術に加え  
生成AIなど新しく登場した技術を活用し  
自社SaaSを構築・展開



SaaS

独自開発の技術やサービスノウハウを活かし  
組織内の業務を最適化するSaaSを提供

**OfficeBot**  
AIチャットボット

**SMART** アドレス帳  
クラウドアドレス帳

SaaSと併せて、顧客固有の  
ニーズに応じた最先端の実用テクノロジーを用いた  
ソリューションを展開



ソリューション

自然言語処理やクラウドなどの  
豊富な知見・開発力により  
ビジネスのイノベーションや企業DXを支援

**Aldea Suite**

**aws** partner network

通信デバイスの開発・製造や、デバイス活用におけるプラットフォーム・アプリケーション開発を通じて  
モノとインターネットを融合した価値を提供

## 事業の歩み

- JENESISが保有する中国工場と宮崎カスタマーサポート拠点により海外コスト×日本品質を実現するODM事業を確立
- ODMで培ったノウハウを活かし、法人向けのICTデバイスを中心とした自社製品事業も並行して展開



設計から試作・量産・保守・カスタマーサポートまで  
一気通貫による独自の事業体制  
さらにネオスとの連携によりデバイスのみならず  
アプリからシステム開発まで対応



### ODM

製造実績500機種以上  
製品種別を問わず、ソフトウェア領域までカバーした  
幅広いODMサービスを展開



GPS・見守り



「POCKETALK」シリーズ



法人向けICT製品

国内メーカーとしての基盤確立に向けて  
オーディオブランド“aiwa”の商標使用権を取得  
デジタルの付加価値を備えた新生「aiwa」として展開



aiwa

### 自社プロダクト

国内ブランドの安心感と  
JENESISならではのコストパフォーマンスを  
兼ね備えた多彩な製品を販売



スマートフォン/タブレット



スマートウォッチ



電子楽器

**発行済み株式総数 12,491,500株**  
(+193,00)

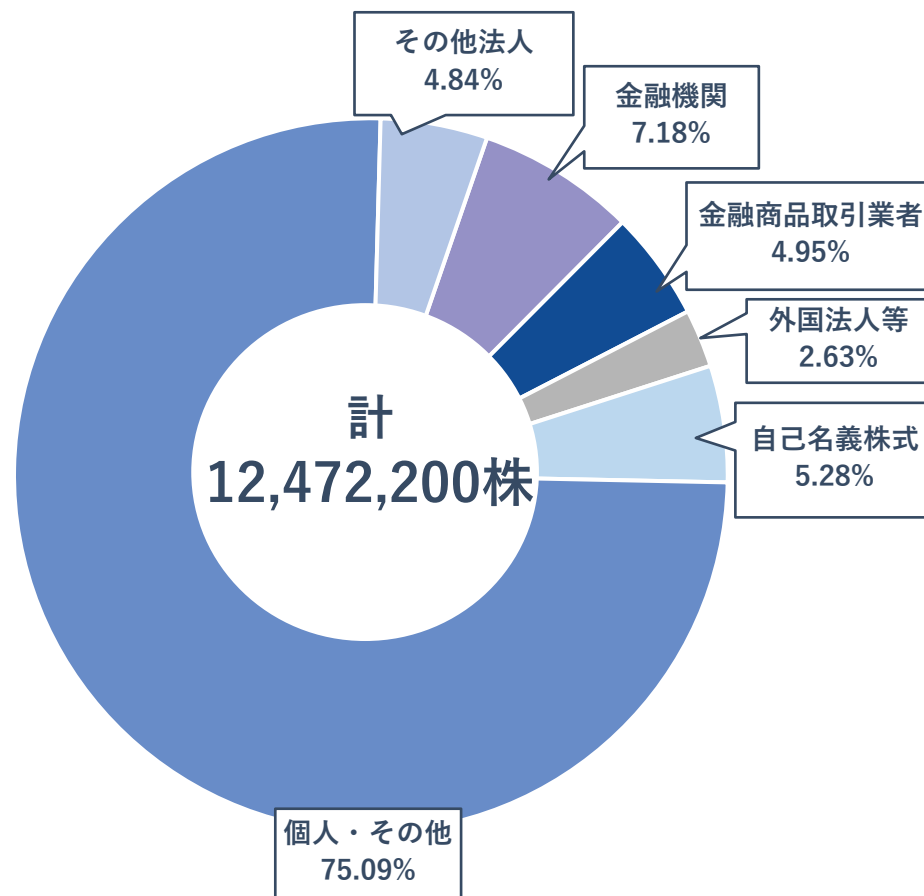
**株主数 7,746名**  
(+338)

※( )内は対前年度末

## 大株主(上位10名)

	所有株数(株)	持株比率(%)
池田 昌史	1,877,800	15.87
太陽生命保険株式会社	570,000	4.81
水元 公仁	363,000	3.06
シャープ株式会社	360,000	3.04
原田 勝幸	348,500	2.94
藤岡 淳一	320,400	2.70
みずほ証券株式会社	262,400	2.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	230,400	1.94
井川 等	222,400	1.87
株式会社SBI証券	137,498	1.16

## 株式所有者別分布



※ 持株比率は自己株式数(660,105株)を控除して計算しております。

# TechnologyとCreativeで 未来を創る

テクミラグループは「Technology」と「Creative」をもって  
社会を彩るミラクルな未来を創造してまいります

IR メールニュース  
ご登録はこちら <https://www.tecmira.com/ir/mailnews/>

当社IRに関する最新情報をタイムリーにお届け致します



シェアードリサーチ社による  
当社の調査レポートはこちら



<https://sharedresearch.jp/ja/companies/3627>

